

相模原市 22 地区社会福祉協議会講演会

さがみはら子どもにやさしいまちづくりフォーラム ～不登校を地域で考える～

「川崎市子ども夢パーク」を昨年9月に視察に行き、西野先生のお話を聞き感動を受けて帰って来ました。今年(2024年)は、理事長の西野先生を相模原にお呼びして「さがみはら子どもにやさしいまちづくりフォーラム～不登校を地域で考える～」をテーマに、けやき会館にて7月25日(木)に講演会を開催しました。

夏休みに日時を設定したのは多くの先生方にも聞いて頂きたいという思いもありました。当日は300名を超えるたくさんの方に来場して頂きました。

「小学1年生から中学3年生で一番いじめが多い学年は？」と問いかけられ、来場者からは各学年バラバラに手が挙がりました。いじめが多い学年は2年生でした。次に1年生と3年生でした。

不登校を防止するためには大人から見ての困った子ではなく、子ども自身が困っている子として、その子のよさを見つけてあげ、何をやってもいいよ！何もなくてもいいよ！といった環境を用意し、楽しいという感情が生まれるような子どもの居場所をつくる。楽しいという感情が生まれれば、自分で学習するようになる。これは将来的に自立できるようにするのであって、学校に行けるようにするのではない。

「今日一日、チャンとを使わない」西野先生の言葉でしたが、そう言えば口癖のように「チャンとしなさい」「キチンとしなさい」という言葉が出がちです。自分を責めて自殺に走る子どもたちが多い傾向にある世の中に、生きてるだけでOKだよ。「食う、寝る、出す」食べられているか？寝れているか？ウンチが出ているか？その三つが出来ていればヨシと西野先生は話されていました。あれこれと細かく注意するのではなく「大丈夫だよ」と見守っていくことを強調されました。今日の話でのまとめになる大切なことだと思いました。

会長 境 勉

手紙ふれあい交流事業

～敬老事業実行委員会より～

今年度も、89歳以上の方々に、麻溝小学校と夢の丘小学校の児童の皆さんが書いたお便りをお届けします。2月ごろ、お手元に届くように準備しております。地区内児童の書いた様々なお手紙、どんな内容が届くかお楽しみに。



みんなで楽しくウォーキング

麻溝地区社会福祉協議会では昨年に引き続き麻溝地区健康づくり普及員の皆様にご協力いただき、3月27日(木)健康ウォーキングを開催いたします。場所や時間等は現在調整中です。決まりましたら麻溝地区地域情報紙(回覧)やホームページ等でお知らせいたします。



共に生き
支え合う
社会

ふれあい麻溝 - 麻溝社協だより -

第118号
令和7年1月発行

麻溝地区社会福祉協議会
相模原市南区下溝 594-6
麻溝まちづくりセンター内
TEL: 042-778-2381

麻溝ふるさとまつり

令和6年10月20日(日)麻溝小学校にて、第35回「麻溝ふるさとまつり」が開催されました。穏やかな天候の中、3,500人を超える人たちが集まりました。

麻溝地区社協の模擬店は、初めてポップコーンと綿菓子の無料配布を実施しました。地域の皆様への感謝の気持ちを込めてお配りしました。敬老事業実行委員会共催イベントが今年も開催され、歌謡ショー、落語、民謡(銭太鼓)が華やかに披露されました。また、新たに地域貢献活動表彰式が行われ、地域に貢献されている高齢者の方へ表彰状と記念品を贈呈致しました。表彰者は支援学校見守りボランティアの方々です。敬老事業対象者の皆様も85名以上の方がお越しになり、お祝いすることができました。

＜麻溝地区社協＞

模擬店出店



ポップコーンと綿菓子を配布しました



麻溝地区社協への募金は5,541円になりました。地域の福祉事業のために活用させていただきます。



＜敬老事業実行委員会＞

共催イベント



歌謡ショー、落語、民謡(銭太鼓)



地域貢献活動表彰式



敬老事業受付

社協はみんなの参加と協力で

福祉講座

「知っておきたい日常の感染防止対策」



12月7日(土)麻溝公民館大会議室で福祉講座「知っておきたい日常の感染防止対策」を開催しました。今回は相模原中央病院看護師長で災害支援ナースである柴崎敦師長をお招きして話を伺いました。

お話しする項目をスクリーンに投影し、その資料を皆様に配布して下さったのでわかりやすかったと思います。

今日の講義として①感染症とは②感染経路別感染症③症状と治療・予防法④感染症から守る免疫強化とは⑤能登半島震災から学ぶ避難生活での感染対策の5項目についてお話を伺いました。

①から④については細菌やウイルスなどの病原体に感染して起こる病気のことを感染症といい、それらの病原体を断つことによって予防対策となる。それは皆様経験したコロナ感染をふせぐための手洗い、マスクを付ける等の予防をしたと思います。感染から身を守る免疫強化として現代人に不足している栄養素を取ることを進めている、その栄養素はビタミンD、マグネシウム、亜鉛などがありそれらを含む素材を食べることを進める。最後の能登半島震災については災害支援ナースとして現場で撮影した写真と動画を投影してもらい、震災の激しさを感じました。【参加者 久保 博昭】

視 察 研 修 会

11月19日(火)にデイサービスラスベガス相模原と宮ヶ瀬ダムに視察研修に行ってきました。

デイサービスラスベガス相模原では、仕方なくいく場所から是非とも行きたい場所を目指した「ゲーミング理論」を取り入れた、新しいタイプの要介護者向け施設であるとの説明を受けました。利用者に専用通貨でゲームを楽しんでもらい脳機能の活性化やお金を使う生活感を感じてもらい、一人ひとりに合った機能改善につながる運動を、職員が指導する。昼食は好きなものを自分で選んでもらう。など利用者がやらされるのではなく自主的に目的意識をもって楽しんでやってもらう仕掛けが盛りだくさんでした。

宮ヶ瀬ダムでは、水道水の確保や発電などを目的に平成13年に完成したダムで、観光放流でも知られる観光地でもあるが、その一方で1,136名の方々が移転せざるを得なかった事実もあることを『水とエネルギー館』で学びました。

今回は、要介護になっても残りの人生を楽しむヒントを得るとともに水の恵みを受けている陰に多くの犠牲もあったことを学ぶ視察研修となりました。

【理事 田村 光弘】



デイサービスラスベガス



はつらつサロン

今月の サロン紹介

はつらつサロンも発足から18年が経過しました。当初は参加者も多く参加されていましたが、コロナ禍で長い休所期間で高齢化が進み、参加者は減少しています。はつらつサロンでは一年を通し、季節毎に趣向をこらした手芸作りやゲーム、



景品を手にもって集合写真

季節料理作り、街角講座等を計画し、参加者が楽しめるサロンにしています。12月はビンゴゲームで沢山のクリスマス景品を用意し、終了後はケーキとお茶でおしゃべりに花を咲かせ楽しいひと時を過ごしました。

【代表 大森 孝】

新磯地区ボランティアセンターと 交流会を行いました

「新磯ちょこっとサポートしたい」との情報交換会を11月2日(土)に開催しました。

今回は「新磯ちょこっと・・・」様からの申し出により新磯公民館にて開催されました。ボランティアセンターあさみぞからは、境会長、事務局の太田さん、沖さん、市社協の川口さんと我々スタッフ4名が参加しました。

交流会は鈴木コーディネーターから「新磯ちょこっと・・・」の紹介があり、次にあさみぞの紹介を行いました。

「新磯ちょこっと・・・」は一人の男性が長年無償の活動を行っていたのを引き継いでボランティア活動を始めたとのこと。

現在は鈴木コーディネーターを中心に23名のサポーターが活動を行っています。

今は、活動拠点がなく、公民館の部屋を借りながらの運営となっていて、現在新しい拠点を準備中とのこと。

「新磯ちょこっと・・・」は初期より有償で活動しており、活動内容、時間で謝礼金が決まっている。活動はLINEを導入していて、コーディネーターはLINEでサポーターを募り、依頼先で活動し、終了後に報酬として既定の謝礼金を受領している。謝礼金は全額サポーターに渡して精算を済ませているとの事、サポーターは受領した金額の領収書発行と当日の「活動記録簿」を作成して活動を終える仕組みにしているとの事で、謝礼金などの管理が効率的でよい方法だと思いました。今回の交流会で得た事を参考に「ボランティアセンターあさみぞ」も有償化を早く実現に向けて進めたいと考えています。【ボランティアセンターあさみぞ センター長 大森 孝】

【街頭募金ご報告】



10月1日(火)に原当麻駅・スーパー三和麻溝店入口付近で赤い羽根街頭募金を実施いたしました。ボランティアとして協力して下さった皆様、募金をくださった皆様、ありがとうございました。募金額は65,661円となりました。ご協力ありがとうございました。